

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	856 市管理文化財維持管理事業					
予算科目	01-100503-13			担当部課	教育局文化財課	
市長公約				係名	活用係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市文化財保存活用計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	文化財保護法、茨城県文化財保護条例、つくば市文化財保護条例			SDGs	04質の高い教育をみんなに	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民、文化財所有者
目的	市内に所在する国・県・市指定や国登録その他の文化財、周知の遺跡等を次世代に良好な状態で継承する。
概要 (取組内容)	文化庁、茨城県及び市文化財保護審議会、文化財保護指導員その他の専門家の指導を仰ぎながら、対象文化財を適切に維持・管理・整備等を実施 市指定史跡保存のための民有地の賃貸借 史跡整備に関する団体に加盟し情報収集や意見交換

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	5,910	5,199	6,200	
	決算額	(千円)	3,767	4,758	5,171	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	3,751	4,742	5,132	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	16	16	39	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,444	2,936	2,941	2,941	2,941	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	250.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	文化財保護審議会での市民委員参加

指標の推移

1	指標名	管理文化財件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	実績	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	市が直接に草刈り・修繕等の維持管理をする文化財の件数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	コロナ禍により市加盟協議会による研修会等のほとんどは中止となったが、市が所管する史跡の草刈り等の業務委託や谷田部藩陣屋跡解説板の修繕を通じて指定等文化財の維持管理が適切にできた。また、小田城跡での草刈り等について、地元団体や住民による景観美化を検討し来年度からの改善の目途が立った。	
課題	業務	指定文化財の解説板が老朽化に伴い、文字が読めないものが増えている。指定文化財解説板の修繕を進める。
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	857 民有文化財補助事業					
予算科目	01-100503-13			担当部課	教育局文化財課	
市長公約	73			係名	活用係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	補助金（直接）	
個別計画	つくば市文化財保存活用計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	文化財保護法、茨城県文化財保護条例、つくば市文化財保護条例			SDGs	04質の高い教育をみんなに	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民、文化財所有者
目的	市内に所在する民有の国・県・市指定や国登録その他の文化財の継承に必要な経費を補助することで、当該文化財を保護する。
概要 (取組内容)	指定・登録文化財の管理・修理について、所定の手続を行いながら、その経費の一部を予算の範囲内で補助

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	1,271	1,042	11,000	
	決算額	(千円)	25,683	4,215	1,882	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	25,683	4,215	1,882	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,412	1,357	1,360	1,434	1,434	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	30.00	30.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	文化財保護審議会

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	コロナ禍の影響により市指定民俗文化財2件で交付決定した補助事業の廃止が生じたものの、市指定民俗文化財田倉の三匹獅子保存事業、国重要文化財大塚家住宅の火災報知器点検事業、同挿し茅修繕事業、市指定文化財随翁院本堂・一ノ矢八坂神社拝殿での火災報知設備設置事業の計5事業に対して補助をすることで、適切な保存・維持管理・修繕等工事ができるような所有者への支援ができた。	
課題	業務	昨年度の首里城火災を契機とした見直しにより必要となった、消防法による県・市指定文化財建造物への火災報知器設置について、県指定文化財筑波山神社春日・日枝神社本殿及び両拝殿が未解決であり、令和3年度に設置への補助を検討していく必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	火災報知器設置の方法と費用負担について、筑波山神社・県文化課・消防署・施工業者との間を調整し、年度内に解決する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	859 市史編纂事業					
予算科目	01-100503-14			担当部課	教育局文化財課	
市長公約				係名	保存係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	つくば市文化財保存活用計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民
目的	歴史資料を体系的・分類的に調査・整理・記録して郷土の歴史を正しく後世へ伝える。
概要 (取組内容)	保有史・資料の整理及び解読作業（江戸時代の近世文書を中心に行う。） 史・資料集の刊行整理・解読後の史・資料について、史・資料集を刊行 未発見史・資料の調査及び記録記録の写真、デジタルデータ化を行う。 市関連史・資料の入手（古書店等からの購入を含む。）

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	187	665	690	
	決算額	(千円)	503	943	119	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	349	850	-5	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	154	93	124	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,412	1,407	1,422	1,360	1,360	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	20.00	25.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	文化財保護審議会

指標の推移

1	指標名	図書の刊行 (冊)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	実績	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	整理・読解の終了した史・資料について、冊子として刊行する。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	前年度は旧町村時代に目録の刊行を行った史料の調査を課題として挙げたが、新型コロナウイルス感染症の影響により個人宅への訪問が困難になったことから、調査の実施ができなかった。
成果	昨年度調査で撮影した史料のうち、刊行できなかった分の解説・原稿作成を実施できた。また史料1件の寄贈を受けるとともに、流出した史料を購入するなど、市史関連史料の収集・保全を行うことができた。デジタル化の分野では、市史関係写真のデジタル化を実施するなど、将来的な保存に向けた取り組みを実施することができた。
課題	<p>業務</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策による予算執行の見直しにより、毎年行っている史料集の刊行については先送りになり実施できなかった。また、旧町村時代に調査・目録作成を行った史料のうち、現況が不明になっている事例が見受けられるのも、引き続きの課題である。</p> <p>組織、予算等</p> <p>将来的には通史編の刊行を検討する必要があるが、通史編の編纂は多くの場合、専門家から構成される編纂委員会と職員による編纂室を組織した上で行っており、旧町村時代の通史編纂も同様の体制で行っていたため、現在の組織・予算で旧町村史と同等かそれ以上の質を持った通史編を刊行するのは困難である。</p>
改善目標	先送りとしていた史料集の刊行を行うとともに、史料の所在確認および調査・保存に努める。また、将来的な通史編の刊行を見据え、通史編を編纂している自治体の編纂組織体制等について情報収集を行う。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	860 小田城跡保存事業					
予算科目	01-100503-15			担当部課	教育局文化財課	
市長公約				係名	保存係・活用係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	史跡小田城跡保存整備基本計画、つくば市文化財保存活用計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	文化財保護法			SDGs	04質の高い教育をみんなに	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民、文化財所有者
目的	国指定史跡「小田城跡」を土地買収により保存し、歴史公園として活用できるよう復元整備する。
概要 (取組内容)	土地買収は、文化庁長官に現状変更を許可されない土地等で実施し、H19年度までに史跡南半の市街化調整区域約11haがほぼ終了、現在は北半の市街化区域で概ね毎年1筆を買収中 復元整備は、H21～27年度に、史跡（約22ha）中心の本丸跡を主とする遺構整備ゾーン（約4.2ha）で実施、合わせて展示機能を持つ案内所の建設を完了

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	28,463	6,301	0	
	決算額	(千円)	33,977	28,320	23,950	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,314	5,672	1,638	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	27,176	22,648	19,152	0	0
		その他	(千円)	5,487	0	3,160	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,208	1,092	1,119	1,050	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.15	0.15	0.15	0.15	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	60.00	30.00	40.00	12.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	文化財保護審議会での市民委員参加

指標の推移

1	指標名	土地買収面積(H29以降)				(m ²)	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	2,126.0	1,430.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	2,135.8	1,425.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	史跡保全のための土地買収面積					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	史跡内1425.82㎡の公有化及びそれに伴う測量や鑑定などを実施し、8月までに地権者交渉で合意した。教育委員会への報告や税控除のための税務協議を行い、11月に契約、登記を完了させた。小田城跡歴史ひろば遺構復元ひろば案内所北側隣接地を購入できたことで、史跡小田城跡の保存を行うことができたとともに、今後の活用の用地となった。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	862 小田城跡確認調査事業					
予算科目	01-100503-15			担当部課	教育局文化財課	
市長公約				係名	保存係・活用係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	史跡小田城跡保存整備基本計画、つくば市文化財保存活用計画			事業期間	期間限定複数年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民
目的	買収した土地等、「小田城跡」の地下状況を把握、確認する。
概要 (取組内容)	国指定史跡「小田城跡」の本丸周辺部(遺構保全ゾーン)、約71,000㎡のうち、4,500㎡を目安に平成9年度～令和3年度（現地調査はH30年度まで）で発掘調査及び整理調査を実施

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	4,036	4,016	2,604	
	決算額	(千円)	4,038	1,220	579	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	2,250	635	392	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	1,788	585	187	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,666	4,390	4,400	4,228	4,228	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
		正職員時間外勤務	(時間)	173.50	130.00	130.00	60.00	60.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	文化財保護審議会での市民委員参加

指標の推移

1	指標名	累計発掘調査面積 (m ²)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	発掘現地調査面積の合計					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	国補助金の減額に伴い、事業規模を縮小して詳細整理を実施した。	
成果	報告書刊行に向けて、26年度～30年度現地調査の詳細整理を実施した。また木製品2点の保存処理を行った。詳細整理を進めることで、保存・整備・活用の計画作成に必要な基礎資料を得ることができたほか、木製品の保存処理を実施することで、出土品の恒久的な保存が可能となった。	
課題	業務	令和3年度は、詳細整理を進め、報告書作成を継続する。
	組織、予算等	令和3年度分の国補助金が減額される可能性があり、予定通り事業を進められるか不透明である。
改善目標	令和3年度は、詳細整理を進め、報告書作成を継続する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	982 埋蔵文化財調査・保存事業					
予算科目	01-100503-12			担当部課	教育局文化財課	
市長公約				係名	保存係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市文化財保存活用計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	文化財保護法			SDGs	04質の高い教育をみんなに	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民、事業者
目的	市内に所在する埋蔵文化財について、文化財保護法等で定められた調査・調整等の手続きを行い、保存措置を講じる。また、重要遺跡の調査・保存や出土品等の保管・活用を行う。
概要 (取組内容)	各種開発等に伴う埋蔵文化財取扱事務、各種開発等に伴う試掘・確認調査 非営利目的での本発掘調査等、民間調査機関による記録保存調査の調整 重要な遺跡の保存・活用を検討するための内容確認調査

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	8,981	32,798	9,200	
	決算額	(千円)	6,114	7,484	10,398	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	3,407	4,258	6,286	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	2,707	3,226	4,112	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	9,253	11,037	11,306	11,011	11,011	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.10	1.50	1.50	1.50	1.50
		正職員時間外勤務	(時間)	600.00	350.00	450.00	330.00	330.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページ等での埋蔵文化財関係手続きの周知、発掘調査報告書の刊行
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	文化財保護審議会での市民委員参加

指標の推移

1	指標名	()					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	デジタル地図情報等の活用を促進することで、現地確認の時間を減らし、業務効率化を図った。
成果	埋蔵文化財の有無照会（文書200件、窓口等2,392か所）に対応し、手続き等を適切に行った。また各種開発に伴う試掘・確認調査39件、本発掘調査2件を実施し、開発と保存の調整をした。そのほか民間調査組織が実施した本発掘調査について、調整・協議・監督を行った。なお本発掘調査等で得た出土品や調査成果は市の貴重な財産になった。また令和2年度は重要遺跡の保存・活用のための調査は実施していない。
課題	業務 耕作放棄地や荒れた山林を利活用するための開発、再生可能エネルギー発電設備開発が増加し、年々業務が増えている。地域活性化を含めた持続可能な社会構築のための開発と、資産である文化財の保存をいかに両立させていくかが課題である。
	組織、予算等 業務量の増加により、発掘調査の現地調査ができる専門員の増員が必要である。
改善目標	遺跡台帳などの整備を行い、資料検索のための時間を短縮して、一層の効率化を図る。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	市・民間事業において市教育委員会が文化財の取扱いを行うことは文化財保護法に定められており、業務を継続していくことが必要であることに加え、令和3年度には県営畑地帯総合整備事業に伴う本発掘調査が予定されているため、事業の拡充が必要となる。

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	854 文化財保護審議会事業					
予算科目	01-100503-11			担当部課	教育局文化財課	
市長公約				係名	保存係・活用係	
戦略プラン	I-2	3	5	文化財の保存と活用の充実	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市文化財保存活用計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	文化財保護法、つくば市文化財保護審議会条例				SDGs	04質の高い教育をみんなに
						11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民
目的	教育委員会の諮問に応じ、文化財の保存及び活用に関する重要な事項について調査し、教育委員会に建議する。
概要 (取組内容)	文化財保護行政全般について、広範な知識を持つ外部有識者と市民委員により、適切で公平に審議任期2年の委員10名による会議を年2、3回開催 必要に応じて各種文化財の現地調査を実施

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	228	228	228	
	決算額	(千円)	164	126	152	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	164	126	152	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,059	1,018	1,020	1,020	1,020	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページでの議事録の公開
企画・立案、計画	特になし
実行	市民委員の参加
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	審議会の開催回数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
	実績	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策 I-2-③文化芸術の推進及び文化財の保存と活用) 審議会の開催回数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	審議会委員の任期（2年）の満了に伴い、新たに委員を任命するに当たり、全10名のうち2名を市民委員とするものとし、公募を行った。結果、応募者の中から2名を採用し、委員に任命した。
成果	文化財保存活用計画に基づき、前年度事業（事務事業及び予算事業）の実績及び成果を報告するとともに、今年度事業（事務事業及び予算事業）の予定及び進捗状況を説明し、専門的な立場からの意見を聴取することができた。また、「史跡平沢官衙遺跡保存活用計画」の策定に当たっても、同様に意見を聴取することができた。
課題	<p>業務 メール等により個別の事案に関する意見聴取や連絡は増加したものの、指標では年3回開催することとしている会議について、審議事案となる「史跡平沢官衙遺跡保存活用計画」の策定スケジュールとの兼ね合いから年2回の開催にとどまった。</p> <p>組織、予算等 女性委員の構成比率が10%で、「つくば市男女共同参画推進基本計画2018-2022」のNo.2-3審議会等委員の女性委員の割合の指標である各審議会毎に30%が未達成。</p>
改善目標	会議の開催については、課業務の年間スケジュール等との調整を図ることにより年3回開催できるようにする。また、次回の任期満了に伴う新たな委員の任命の際は、専門性の点から適任者が限られるものの、女性委員比率の計画指標の達成を目指す。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	863 文化財展示施設管理事業					
予算科目	01-100503-16			担当部課	教育局文化財課	
市長公約	76			係名	活用係	
戦略プラン	I-2	3	5	文化財の保存と活用の充実	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画	つくば市文化財保存活用計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	つくば市文化財展示施設条例及び同条例施行規則				SDGs	04質の高い教育をみんなに
						11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民、施設利用者
目的	市内の出土文化財、史料、民俗資料等や復元整備した史跡の保存と展示を行う、市文化財展示施設等の収蔵資料や施設の維持管理
概要 (取組内容)	収蔵資料の収集及び適切な管理 申請に応じた施設使用・資料利用への対応 施設の維持管理のための法定点検、植栽や設備の維持管理、機械警備、収蔵資料の燻蒸処理等を専門業者に委託して実施 ※桜歴史民俗資料館には、桜窓口センターが含まれる。

コストの推移

項目		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円) 0	0	62,115	61,132	68,261	
	決算額	(千円) 103,767	51,270	64,316	0	0	
	内訳	一般財源	(千円) 103,693	51,183	59,092	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円) 0	0	5,181	0	0
		その他	(千円) 74	87	43	0	0
人件費	人件費計	(千円) 5,598	5,211	5,760	4,228	5,563	
	内訳	正職員従事割合	(人) 0.70	0.75	0.80	0.60	0.80
		正職員時間外勤務	(時間) 265.00	50.00	130.00	60.00	50.00
		会計年度任用職員有無	(-) 無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	文化財保護審議会での市民委員参加

指標の推移

1	指標名	収蔵資料利用件数 ()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	45.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	実績	48.0	24.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策 I-2-2-③文化芸術の推進及び文化財の保存と活用) 収蔵資料の閲覧・写真撮影複写・掲載及び貸出等の利用件数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	自主点検マニュアルによる施設の状況把握を継続した。	
成果	桜歴史民俗資料館の空調設備工事等の実施により、施設や収蔵資料を良好な状態に保つとともに、資料貸出業務を通じて市内外の方々に市の歴史と文化への理解を深めてもらい、あわせて学術の発展に資することができた。長い間の課題であった保管施設について、旧豊里庁舎の利用を開始した。また『史跡平沢官衙遺跡保存活用計画』を策定し、今後の保存や活用の方向性を示すことができた。	
課題	業務	施設の修繕計画について、詳細な検討にまで至らなかった。
	組織、予算等	特になし
改善目標	引き続き、市公共施設マネジメント及び『文化財保存活用計画』と連動させながら、施設修繕計画を検討していく。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	864 金田官衙遺跡保存事業					
予算科目	01-100503-17			担当部課	教育局文化財課	
市長公約				係名	保存係	
戦略プラン	I-2	3	5	文化財の保存と活用の充実	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画	つくば市文化財保存活用計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	文化財保護法				SDGs	04質の高い教育をみんなに
						11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民、事業者
目的	中根・金田台特定土地地区画整理事業内の歴史緑空間用地に含まれる国指定史跡「金田官衙遺跡」の土地を保存する。
概要 (取組内容)	H15年度に都市基盤整備公団、茨城県、つくば市間で締結した「覚書」、及び同21年度にUR都市再生機構とつくば市間で締結した覚書の内容を具体化する「協定」等により、史跡内の公有地除く約7.3haを、国庫補助を受けて同機構からH22～33年の12年計画で買収

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	185,746	426,095	0	
	決算額	(千円)	193,463	183,344	182,121	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	9,693	3,669	3,981	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	183,770	179,675	178,140	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,462	1,382	1,410	1,360	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	10.00	20.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	文化財保護審議会

指標の推移

1	指標名	累計土地買収面積 (ha)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	6.0	6.6	7.3	0.0	0.0	0.0
	実績	5.1	5.7	7.3	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	(I - 2 - ③文化芸術の推進及び文化財の保存と活用) 買収対象面積約7.3haに対する当該年度までの累計面積					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	史跡追加指定の日程を勘案しながら、本年度の契約手続きを進めた。	
成果	昨年度に意見具申し、今年度10月に史跡として追加指定された3筆1,285.48㎡を含む、6,500.03㎡を12月にURから買収したことで、文化財を保全するとともに、TX沿線開発が良好な形で円滑に進行するという効果も図れた。	
課題	業務	来年度が計画的な公有化事業の最終年度となり、これまでと異なる国庫補助制度を利用することとなるので、補助制度の詳細や手続きの確認が必要となる。
	組織、予算等	特になし
改善目標	文化庁、県文化課、UR、市財政課との連絡を綿密に行い、事務の遺漏を防ぐ。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	令和3年度が事業の最終年度であり、URとの協定に基づき購入する史跡指定地約7.3haのうちの残る未購入地すべて購入する計画であることから、購入面積が約0.7haから約1.5haに増加するため。

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	865 学校での伝統文化教育支援事業					
予算科目	01-100503-18			担当部課	教育局文化財課	
市長公約				係名	保存係・活用係	
戦略プラン	I-2	3	5	文化財の保存と活用の充実	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市文化財保存活用計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	文化財保護法、教育基本法				SDGs	04質の高い教育をみんなに
						11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	児童・生徒、教職員
目的	県内でも有数の内容を誇る市の歴史や文化財を、学校教育の中で市内の子供達に伝える。
概要 (取組内容)	出前講座・文化財施設見学説明 学校教諭対象の説明研修会の開催 つくば市の歴史や文化財を教育現場で活用しやすい形にまとめ、伝統文化教育を支援する各種教材を学校に提供

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	209	209	210	
	決算額	(千円)	184	142	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	184	142	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,654	3,466	3,400	3,499	3,474	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	50.00	30.00	0.00	40.00	30.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	文化財保護審議会

指標の推移

指標名	講座・説明件数 (件)						活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
1	目標値	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0
	実績	31.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(I - 2 - ③文化芸術の推進及び文化財の保存と活用) 学校対象に行う出前講座や展示施設見学説明の件数						

2	指標名	研修会の開催件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	実績	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	学校教諭対象の説明研修会の開催					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	出前講座の際には打合せを数度行い、できる限り要望に沿った内容の講座を行った。	
成果	感染症の影響により展示施設説明及び出前講座は回数は少なかったものの、出前講座では可能な範囲で資料を持ち込むなどの工夫をし、また小中学生を主対象とした「夏休み歴史・文化財相談室」を開催することで、児童・生徒たちが郷土に関心と愛着を持つ機会を増やすことができた。また、中止となった教職員研修の代わりに資料を配布したことで、学校教育への支援ができた。	
課題	業務	令和2年度から教科書及び単元が変わったことにより、出前講座の要望の内容にも変化が見られた。また、文化財保護審議会で、学校授業で活用できる民具使用方法等の動画作成について意見があった。
	組織、予算等	特になし
改善目標	新しく追加となった単元に対応できるような出前講座の資料を検討する。また、わかりやすい民具使用方法の動画作成を検討する。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	866 文化財展示講座等事業						担当部課	教育局文化財課
予算科目	01-100503-18						担当部課 係名	教育局文化財課 活用係
市長公約	72							
戦略プラン	I-2	3	5	文化財の保存と活用の充実			新規・継続	継続
							事業分類	自治事務（任意）
							事業体制	一部委託
個別計画	つくば市文化財保存活用計画						事業期間	毎年度
根拠法令等	文化財保護法、市教育振興計画						SDGs	04質の高い教育をみんなに
								11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民
目的	県内でも有数の内容を誇る市の歴史や文化財に対する市民の関心や郷土愛を育むとともに、観光等へ活用することで市のプロモーションに寄与する。
概要 (取組内容)	展示施設や市庁舎を巡る巡回企画展を開催し、テーマに沿った講演会等を実施 古文書読解等の文化財講座の実施 平沢官衙遺跡歴史ひろば、小田城跡歴史ひろばにおける史跡活用催事の開催

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	4,177	3,914	4,190	
	決算額	(千円)	3,760	5,504	3,349	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	2,601	3,215	1,962	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	1,000	2,162	1,387	0	0
		その他	(千円)	159	127	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,809	8,510	8,652	8,406	8,529	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.70	1.20	1.20	1.20	1.20
		正職員時間外勤務	(時間)	350.00	150.00	200.00	100.00	150.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	企画展・講座・講演会等の周知
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	文化財保護審議会

指標の推移

指標名	企画展開催に伴う講演会等の回数 (回)						活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
1	目標値	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	実績	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(I - 2 - ③文化芸術の推進及び文化財の保存と活用) 企画展のテーマに沿った講演会や体験講座の開催日数						

2	指標名	桜歴史民俗資料館入館者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	7,850.0	7,880.0	8,000.0	8,040.0	8,080.0
	実績	8,064.0	1,705.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	平沢官衙遺跡歴史ひろば入館者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	46,610.0	47,000.0	47,850.0	48,770.0	49,685.0
	実績	50,609.0	35,722.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	小田城跡歴史ひろば入館者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	21,300.0	21,380.0	21,390.0	21,400.0	21,420.0
	実績	17,741.0	15,317.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	出土文化財管理センター及び谷田部郷土資料館の入館者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	4,740.0	4,740.0	4,760.0	4,790.0	4,815.0
	実績	3,948.0	489.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	<p>コロナ禍により、史跡活用催事と古文書講座は中止となり、展示施設の来館者数も大幅減となったが、巡回企画展は期間を短縮して開催でき、企画展1,565人、講演会58人、体験学習18人の来場者・参加者を得た。アンケートの満足度も高く、実施によって歴史や文化財に対する市民の関心や郷土愛を育むことができた。また、ジオパーク室との共催により、観光やシティプロモーション等の活性化にも寄与できた。</p>	
課題	業務	講師の事情により、13年続けてきた古文書講座は終了せざるを得ず、事業の再検討が必要となった。また、コロナ禍により催事開催の検討が必要となった。
	組織、予算等	特になし
改善目標	<p>文化財講座を、講師や内容を見直して検討する。 新型コロナウイルス感染症の状況により、展示施設の開館や催事開催での安全対策や工夫、計画変更をしていく。</p>	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	981 各種文化財基本調査事業					
予算科目	01-100503-12			担当部課	教育局文化財課	
市長公約				係名	保存係	
戦略プラン	I-2	3	5	文化財の保存と活用の充実	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画	つくば市文化財保存活用計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	文化財保護法				SDGs	04質の高い教育をみんなに
						11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民
目的	市内に所在する無指定を含む各種文化財の基本調査を行い、基礎データを収集し、今後の保存対策の立案・資料蓄積及び「まちづくり」の根幹となる地域独自の文化財の把握をする。
概要 (取組内容)	各種文化財について計画的・継続的に所在や概要を把握する基本調査である悉皆調査の実施 巡視等により文化財の現状を把握する現況確認調査の実施

コストの推移

項目		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円) 0	0	620	513	620	
	決算額	(千円) 0	7,810	550	0	0	
	内訳	一般財源	(千円) 0	7,810	550	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円) 0	0	0	0	0
		その他	(千円) 0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円) 0	2,085	2,092	2,202	2,090	
	内訳	正職員従事割合	(人) 0.00	0.30	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間) 0.00	20.00	21.00	66.00	20.00
		会計年度任用職員有無	(-) 無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	広報紙等での調査実施の周知、市民向け刊行物の作成
企画・立案、計画	対象文化財の市民等からの情報提供
実行	特になし
評価、検証	文化財保護審議会

指標の推移

1	指標名	悉皆調査件数（R1まで）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	73.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策 I-2-③文化芸術の推進及び文化財の保存と活用) 自然文化財調査の現地調査件数						

2	指標名	巡視による現況確認文化財件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0
	実績	26.0	26.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	計画的な巡視で保存状況を確認した文化財の件数					
3	指標名	悉皆調査件数 (R2から) (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	実績	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	(個別施策 I-2-③文化芸術の推進及び文化財の保存と活用) 各種文化財の悉皆調査件数					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	巨樹・古木調査の成果をまとめた市民向け刊行物作成が改善目標であったが、新型コロナウイルス感染症対策に伴う事業見直しにより刊行を先送りとした。	
成果	悉皆調査では、巨樹・古木調査成果の刊行物の原稿の一部を作成し、来年度以降の事業の基礎となった。国県指定文化財等については、8月と1月の2回、県文化財保護指導員とともに巡視をし、現状の把握ができた。また、解体された解脱寺の彫刻がある部材9点を回収・保管し、社寺建築に関する貴重な資料が蓄積できた。	
課題	業務	予算の制約がある中で、先送りとした巨樹・古木調査の成果を市民等にわかりやすく公開するための刊行物の作成を進める必要がある。また、平成30年度策定の市文化財保存活用計画で中期的な目標とした、研究学園都市建設等の新しい時代に関する資料調査を検討する必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	巨樹・古木調査については成果をまとめた市民向けの刊行物の原稿作成を進め、研究学園都市建設等の新しい時代に関する資料調査については事業計画を作成する。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	983 文化財サポーター事業					
予算科目	01-100503-18			担当部課	教育局文化財課	
市長公約				係名	活用係	
戦略プラン	I-2	3	5	文化財の保存と活用の充実	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市文化財保存活用計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし				SDGs	04質の高い教育をみんなに
						11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民
目的	市民が歴史や文化財に触れる機会、市の文化財行政を知る機会を作る。
概要 (取組内容)	解説ボランティア育成を目的とした講座・研修の開催 講座修了者からボランティア登録者を募り、展示施設や文化財の解説のほか、学校支援業務への協力、文化財の見回り、イベント時の補助、展示作成時の補助などを実施

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	294	244	300	
	決算額	(千円)	0	17	145	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	17	145	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	5,496	5,539	5,588	5,509	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.80	0.80	0.80	0.80
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	28.00	40.00	60.00	28.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページ等でのボランティア制度の周知
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	文化財保護審議会

指標の推移

1	指標名	文化財サポーター参加人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	15.0	20.0	25.0	30.0	35.0
	実績	10.0	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(I - 2 - ③文化芸術の推進及び文化財の保存と活用) 文化財サポーターとして活動する人数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	解説ボランティア講座1回を開催した。	
成果	10月～3月に谷田部・桜地区の解説を目標とした第2回解説ボランティア養成講座を開催、修了者6名のうち新規登録者5名で、計15名となった。11月にはボランティア参加の展示解説を実施した。また、年間を通じて、民間のボランティア団体「常陸小田城親衛隊の会」と連携し、小田城跡での解説や会員への研修等を実施。市の事業に市民が参加し、文化財への理解と愛着を深める機会とすることができた。	
課題	業務	今年度はコロナ禍のため解説の機会が大幅に減少し、文化財サポーターが活躍できる場面が少なかった。登録者が少ないため、今後とも登録者を増やすために研修の実施が必要であるとともに、登録者の知見の向上を目指す研修も必要となる。
	組織、予算等	特になし
改善目標	引続き解説ボランティア養成講座を定期的を開催し、登録者向けのステップアップ研修も実施する。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続	
理由	-	